

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

令和 5 年 5 月 2 9 日（月）

午後 1 時 3 0 分 開 会

場 所：全 員 協 議 会 室

○坂井美穂委員長

ただいまから文教厚生委員会を開会します。始めに、委員長連絡会議において説明を受けた事項について、ご報告申し上げます。まず、「常任委員会行政視察について」は、3 日間を基準として、予算 1 人あたり 9 万円以内 としています。なお、委員会や政務活動費を使用した視察で、同一年に同じところへ視察に行くことがないように留意すること。とのことでした。

次に、「閉会中の調査事項について」は、特別委員会設置の関係もありますので、委員の意見を十分に聞き協議し、早めに各委員会の調査内容を決定するようにとのことでした。

次に、議員勉強会について今年度の開催時期等については、例年通り 2 回開催予定で、テーマについては議会運営委員会で調整し、決めていくとのことでした。

次に、決算審査の資料請求については、委員からの要望については「全委員で協議・精査し、請求をすること。また、元から当局にある資料はよいが、加工してデータを出させることのないよう、大量の資料を提出させた場合は、結果報告をさせるように。」とのことでした。昨年度の請求内容については、お手元に配付したとおりです。今年度の請求内容については、不要なものの削除や、新たに追加・要望がある場合は、委員会として判断したものを請求していきたいと思います。なお、請求内容について、追加・修正等の要望がある場合は、6 月中に事務局までご連絡をお願いします。

次に、事業評価については、昨年度に決定した内容で、今年度も実施します。配付したとおりのスケジュールを進めることを考えており、7 月末には評価を行う事業を選定すること。また、できていない点を指摘するばかりでなく、評価している点も挙げる。とのことでした。

最後に、その他として、5 月から 10 月までクールビズ期間となりますので、ご承知ください。以上が、委員長連絡会議についての報告ですが、ただいまの報告にご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

ないようですので、これで委員長連絡会議についての報告を終わります。

次に、所管事項の報告について、を行います。部ごとに各課の所管事項について、ご説明いただき、質疑応答を行います。それでは、福祉部から説明をお願いします。

○杉江慎二地域福祉課長

[資料に基づき説明]

○長谷川信和生活援護課長

[資料に基づき説明]

○沢田義行高齢介護課長

[資料に基づき説明]

○水野一男国保年金課長

[資料に基づき説明]

○竹内健健康課長

[資料に基づき説明]

○坂井美穂委員長

説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

ないようですので、一旦休憩します。福祉部の課長さんをご退席ください。

休憩 午後 2 時 5 分

再開 午後 2 時 7 分

○坂井美穂委員長

それでは、委員会を再開します。続いて、子ども未来部から説明をお願いします。

○小林徹子ども育成課長

[資料に基づき説明]

○三輪象太郎子育て相談課長

[資料に基づき説明]

○前田成久幼児保育課長

[資料に基づき説明]

○坂井美穂委員長

説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり。】

○坂井美穂委員長

ないようですので、一旦休憩します。子ども未来部の課長さんをご退席ください。

休憩 午後 2 時 24 分

再開 午後 2 時 36 分

○坂井美穂委員長

それでは、委員会を再開します。続いて、教育部から説明をお願いします。

○内藤誠学校教育課長

[資料に基づき説明]

○榊原秀夫学校給食センター所長

[資料に基づき説明]

○青木美希生涯学習課長

[資料に基づき説明]

○加藤計志スポーツ課長

[資料に基づき説明]

○齋藤政樹図書館長

[資料に基づき説明]

○関正樹博物館長

[資料に基づき説明]

○遠山光嗣新美南吉記念館長

[資料に基づき説明]

○坂井美穂委員長

説明は終わりました。ご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり。】

○坂井美穂委員長

ないようですので、これで質疑を終わります。しばらく休憩します。

休憩 午後 3 時 13 分

再開 午後 3 時 14 分

○坂井美穂委員長

会議を再開します。続いて、「閉会中の調査テーマについて」を議題とします。過去の調査テーマについては、【資料 3】のとおりです。また、みなさまから意見を頂戴したものが【資料 4】です。

この件について協議してまいります。はじめに委員長案をお伝えさせていただきます。テーマは、「介護人材の確保と介護サービスの最適化の取組み強化」です。背景は、2040 年には、日本の高齢者人口がピークに達し、労働力不足の深刻化、社会保障の崩壊の危機、介護離職者の増加など、様々な問題が発生することが予測されています。団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者になることで様々な問題が起こるとされている 2025 年を控えた今、介護人材の確保と介護サービスの最適化の取組み強化により、自立支援と重度化防止につなげ、介護給付費を抑える施策が必要ということで提案させていただきました。介護保険制度が持続

可能な制度として維持されていくためには、まずは介護人材不足の解消と、それに伴う介護サービスの最適化を行い、そこから、自立支援の促進、重度化防止、そして、介護給付費の抑制につなげていく必要があると考えています。今回は、介護人材確保のための先進地の施策の研究と、ケアプラン作成の標準化や最適化について研究を行っていきたいと考えています。また、要介護状態となる前に短期間で元の生活に戻していく訓練を半田市でも推進していきたいという思いで、このテーマを提案させていただきます。皆さんからもテーマ案を頂戴しておりますので、その件についても踏まえ、テーマを決定したいと思います。しばらく休憩します。

休憩 午後 3 時 15 分

再開 午後 3 時 33 分

○坂井美穂委員長

休憩をとき、委員会を再開します。ただいまの休憩中に有留委員から、「子どもも高齢者も集える居場所づくり」「包括的性教育のすすめ」「障がい者就労支援の今」について、創造みらい半田さんから、「地域支援事業通所型サービスCの利用促進」について、加藤委員から、「半田の食育」についてご提案をいただきました。その後、皆さまのご意見をいただく中で、委員長案で進めることにご賛同をいただきましたので、本年度の閉会中の調査事項を「介護人材の確保と介護サービスの最適化の取組み強化」としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

【「異議なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

それでは本年度の閉会中の調査事項は、「介護人材の確保と介護サービスの最適化の取組み強化」に決定しました。次に、今後のスケジュールについてですが、【資料 5】が、大まかなスケジュールの案です。委員会は概ね月に1回程度実施し、市内視察と閉会中テーマ勉強会を6月末、県内視察を7月～8月または、10月～11月で実施、県外視察は、10月から11月で行いたいと考えています。以上をふまえ、今後の日程調整を行いたいと思います。しばらく休憩します。

休憩 午後 3 時 35 分

再開 午後 3 時 40 分

○坂井美穂委員長

休憩をとき、委員会を再開します。まず、市内視察と勉強会については、6月の28日、29日、30日の三日間のいずれか、そして県外視察の候補日は11月の8日、9日、10日、または、11月、15日、16日、17日ということになりましたので、ご予定の程、よろしく願いいたします。次に、「その他」のうち、「市内視察について」を行います。しばらく休憩します。

休憩 午後 3 時 41 分

再開 午後 3 時 50 分

○坂井美穂委員長

休憩をとり、委員会を再開します。休憩中に協議した結果、市内視察の行先については、休憩中に皆さんからいただいた内容も参考に、場所の決定と細かい調整については委員長にご一任いただけるということになりましたので、よろしくお願いいたします。最後に、そのほかで何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

以上で、本日の議題はすべて終了しました。これもちまして、文教厚生委員会を閉会します。

午後 3 時 51 分 閉会